

2020 年度
事 業 報 告

自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日

公益財団法人
中山隼雄科学技術文化財団

事業報告

2020年4月 1日から
2021年3月 31日まで

I 当法人の現況に関する事項

1 事業の経過及びその成果

当法人は、「人間と遊び」という視点に立った科学技術の振興に関する事業を行い、ゆとりと活力のある社会の構築に貢献することを定款に定める目的としております。

具体的には、この公益目的に適う調査・研究・開発の推進及びこれらの助成、国際交流の助成並びに普及啓発の分野の公益事業であります。2021年3月期（以下「2020年度」といいます。）は、昨年引き続き新型コロナウイルスの蔓延が世界中を襲い続けたため、積極的に事業に取り組むことが不可能な状況が続きました。

この結果、費用面につきましては、46,820千円(前年度比38.1%減)、うち公益目的事業費は39,366千円(前年度比39.5%減)、法人管理費は7,454千円(前年度比29.3%減)となりました。

一方、収益面につきましては、基本財産の株式配当が25%減配となり9,500千円減少し、事業安定基金及び資産活用基金につきましても、金融情勢が一段と厳しさを増す中、安全性を最優先にしつつ運用に努めた結果大幅に減少し、経常収益は54,833千円(前年度比24.1%減)となりました。

これらにより、経常収益は経常費用を8,013千円上回りました。

当年度経常増減額は、上記の減額8,013千円に、保有株式等基本財産の評価益375,290千円及び特定資産の評価益152,965千円を合算して536,268千円の増額となりました。

これらの結果、正味財産期末残高は、3,080,581千円(前年比121.1%増)となりました。

主要事業別の経過及びその成果は、次のとおりであります。

【調査研究事業】

調査研究事業は、定款第4条第1項第1号の目的である財団自らが能動的に解決又は実現を図るべきと思料する、「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する調査、研究及び開発の推進に関する事業であります。

① 2020年度からの継続事業

所属 肩書	個人 共同	選択研究課題 応募研究課題	期間 (年)	研究費 (千円)
齋藤 大輔 早稲田大学 基幹理工学部 講師(任期付)	個人	課題① 遊びながら自律的にプログラミング的思考を育成可能なゲームの提案および学習効果の評価	2	3,000(2020) 2,180(2021)

※選択課題①プログラミング的思考力育成ゲーム

② 2021年度の新規事業

調査研究の課題設定は、2014年度より一般公募により優れた研究テーマを発掘し、これを研究課題として研究者を募集することとしてまいりました。

この方針に基づき、本年度一般公募は第7回「社会を変える『夢のゲーム』アイディア」として実施し、309件の応募作品中 最優秀作品1件、優秀賞10件（ジュニア賞10件）を表彰しました。本年度の調査研究課題の設定は、第7回の入賞者の作品を基に決定する予定でしたが、本委員会では課題決定の方針についての結論が得られなかったため、企画委員長の裁量により本年は休止する案が提案され、メールベースで企画委員全員の意見を伺い集約した結果、9月8日賛成多数により委員長案のとおり 2021年度の新規募集を中止することを決定しました。

【研究助成事業】

研究助成事業は、当法人の中核となる事業であり、助成目的別に次のように分類されます。

- ・助成研究

定款第4条第1項第2号の目的である「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する調査、研究及び開発に対する助成。

(助成研究A-1、A-2、Bに分類されます。)

・国際交流

定款第4条第1項第3号の目的である学会・研究会活動及び国際交流に対する助成。

(1) 助成研究A ゲームの分野の研究に対する助成

① 2019年度からの継続事業

外部の学識経験者からなる10名の選考委員による中間審査を経て課題7組に対して、合計5,750千円を継続助成しました。

*研究区分A-1(重点課題): サステナビリティにつながるゲーム

氏名 所属・肩書	研究課題 研究区分	助成額 (希望額) (千円)
萩野谷俊平 法政大学大学院ライフスキル教育研究所 特任研究員	シリアスゲーム「アバタートレーニング」 による児童虐待面接訓練 A-1	1,400 (2,348)
西田佳史 東京工業大学工学院機械系 教授	転落誘発特徴の遊具化に基づく子どもの 行動予測モデル開発 A-1	1,050 (1,554)
仲田知弘 第一工業大学工学部 准教授	ゲームの要素を導入した排出権取引市場 のモデル化 A-1	800 (1,525)
久保山力也 大阪大谷大学人間社会学部 講師	ゲーミングによるインクルーシブな日本 社会の創造 A-1	600 (1,070)
福本壘 長岡造形大学造形学部 助教	都市の持続性に寄与する空き空間活用ゲ ームの開発と評価 A-1	1,000 (2,390)
森本有紀 九州大学芸術工学研究院 助教	中型から大型の動植物を対象とした動的 プロジェクションマッピングの自動生成 A-2	600 (1,350)
渋谷明子	ゲーム文化の多様性と共存の実現に向け	300

創価大学文学部 教授	た内容分析 A-2	(632)
合 計		5,750 (10,869)

② 2020年度 新規事業

重点研究と基礎的・基盤的研究に分類して助成することとし、7月に当法人のウェブサイトにも募集案内を掲載すると共に、全国の大学、高専、国公立研究機関等の関連組織にも募集案内を送付する外、関連学会に依頼して当該学会のウェブサイトにも掲載するなどして幅広く募集を広報しました。

(A-1) 重点研究（楽しいニューノーマル世界へようこそ）

又、本重点研究では、ゲーム以外の領域とのコラボレーションに基づく独創的な研究を歓迎することとしております。

外部の学識経験者からなる10名の選考委員が事前審査を経て19課題を本審査した結果、次の3組に対して、合計5,200千円を助成しました。

受付 番号	氏 名 所属・肩書	研 究 課 題 研究組織	希 望 期 間	1 年目助成 額 (同希望 額) (千円)
28	太田和彦 総合地球環境学研究所・ FEAST プロジェクト 助教	図書館でシリアスポー ドゲームジャムーゲー ム開発を通じた社会構 想と相互学習 共同研究	1 年	1,800 (2,600)
49	松井崇 筑波大学 体育系 助教	e スポーツは活力と絆 を育むか? : ニューノ ーマルスポーツ開発 個人研究	1 年	2,000 (3,000)

55	御手洗彰 京都産業大学大学院 先端情報学研究科 博士後期課程 1 年生	家族間コミュニケーションを促すレクリエーション援助ロボットの開発 共同研究	1 年	1,400 (2,880)
合 計				5,200 (8,480)

(A-2) 基礎的・基盤的研究

研究テーマは、「ゲームの本質に関する研究」、「ゲームと人間に関する研究」、「ゲームと社会に関する研究」及び「ゲームと技術に関する研究」と例年と同様に幅広く設定して助成することとしました。助成研究(A-1)と同様の審査手続きを経て、27組を本審査した結果、次の4組に対して、合計 2,950 千円を助成しました。

受付番号	氏名 所属・肩書	研究課題 研究組織	希望期間	1年目助成額 (同希望額) (千円)
45	毛利仁美 立命館大学大学院文学研究科 リサーチアシスタント	ビデオゲーム関連資料の保存意義に関する研究：小学館の学年別学習雑誌を事例として 個人研究	1 年	1,000 (1,700)
52	飯沼瑞穂 東京工科大学メディア学部 准教授	親子で遊べるソーシャル・デザイン教材：持続可能な社会の実現に向けた学習 共同研究	1 年	600 (910)
64	今悠気 電気通信大学 情報理工学研究科 博士後期課程学生	調和的な VR 体験を実現する視触覚運動誘発錯覚現象相互作用制御技術の構築 個人研究	1 年	1,000 (1,858)
69	山根信二 東京国際工科専門職大学 工科学部 講師	ゲーム用語のグローバル対応に関する研究：ゲーム教育基盤の観点から 個人研究	1 年	350 (447)

合 計	2,950 (4,915)
-----	------------------

(2) 助成研究 B 「人間と遊び」に関する研究に対する助成

研究テーマは、「遊びの本質及び影響に関する研究」、「遊びの社会的諸活動への応用に関する研究」及び「助成研究 A 又は B のいずれの課題にも属さない『人間と遊び』の研究」とし、事実上人間と遊びをテーマにした研究であればどのような専門分野からでも応募できるように配慮しました。

助成研究 A と同様の審査手続きを経て 23 組を本審査した結果、次の 4 組に対して、合計 2,000 千円を助成しました。

助成研究 B の研究期間は、単年度のみであります。

受付 番号	氏 名 所属・肩書	研 究 課 題 研究組織	助成額 (希望額) (千円)
3	鈴木馨 東京農工大学フィール ドサイエンスセンター 准教授	自分でつくる・できる身体 あそび 個人研究	500 (1,000)
31	平木 剛史 大阪大学 大学院基礎 工学研究科 日本学術振興会特別研 究員	造形後に物体表面の色と模 様を制御可能な立体物造形 手法 共同研究	500 (1,000)
60	川野麻衣子 北摂こども文化協会附 属研究機関 日本こど も未来研究所 研究所長 (兼協会理事 長)	学童期の余暇における遊び の本質－権利としての遊び を捉える視点 個人研究	600 (1,000)
68	貝原千馨枝 津田塾大学大学院国際関 係学研究科 後期博士課程	障害児向け英語学習カード ゲーム「44 まなキキ」の開 発 共同研究	400 (1,000)

合 計	2,000 (4,000)
-----	------------------

(3) 国際交流（参加）の助成

応募課題 1 組を本審査した結果、採用を見送ることとしました。

【普及啓発事業】

普及啓発事業は、定款第 4 条第 1 項第 4 号の目的に関する事業であり、当法人が自ら主位的に行う「調査研究」及び当法人が助成して研究者が行う「助成研究」の成果を、広く一般に公開しその普及を促進する事業であります。しかしながら、以下に掲載する事業を除き休止のやむなきに至った。

① IGDA 日本との協働による事業

本件は、当法人より働きかけて種々交渉の結果、2016 年度から順調に実績を重ねている。しかしながら 2020 年度は、コロナ禍の影響で実際に集まっていたワークショップが開催できませんでしたが、それに代わり指導者向けにオンラインでのワークショップを 6 月 29 日と 7 月 4 日に実施し、それに対し支援を行いました。

② 人間と遊び（財団レポート 2019）の発行

研究者から成果報告を受け、年次報告を発行することになっていましたが、コロナ禍での業務時間短縮等により編集作業の途中となっており、年度内発行ができませんでした。

③ ウェブサイトの高度情報化

年報「人間と遊び」に掲載した研究成果の概要は当法人ウェブサイトでも公開し、一定の条件の下に誰でもがその成果を利用することができる体制を構築しようとして取り組んでいます。

調査研究や助成研究の、募集、応募、審査、通知、報告等をほぼ一貫してウェブ上で行うことにより、研究者と当法人のコミュニケーションツールとしても大きな役割を果たしており、事務能率の向上と迅速化に威力を発揮しております。

他方、当法人の活動をより広く・早く一般の皆様にも気軽に知っていただけるように、SNSによる情報発信を開始しており、徐々に成果が挙がっております。今後は更に興味深くお読みいただける内容とするなど、当法人の事業を社会一般に周知すべく努力してまいります。

【公益目的事業の直接経費の計画と実績】

以上の公益事業費の内、研究費を中心とした直接経費のみについて、予算と実績を比較すると次表の通りとなります。

単位：千円

事業別	予算額	実算額	達成率 (%)	備考
調査研究事業	3,000	3,400	113.3	1,800～4,200
研究助成事業	16,000	16,054	100.3	9,240～21,560
A	10,500	13,900	132.4	6,300～14,700
B	4,500	2,000	44.4	2,700～6,300
国際交流	400	0	0.0	240～560
IGDA	600	154	25.7	
合計	19,000	19,454	102.4	

(注) 備考欄の数字は、基準予算額の上下40%の範囲を示します。

調査研究の応募テーマと助成研究の応募テーマの双方を比較考量したうえで、より優れたテーマを採択して研究委託若しくは研究助成するため、相互の予算を一部共通化し、個々の研究テーマ群ごとに基準値の上下最大40%の範囲で、弾力的な配分を行うこととしております。

2 資金調達等の状況

- ① 資金調達 : 当期の資金調達はありません。
- ② 設備投資 : 当期の重要な設備投資はありません。
- ③ 事業の譲渡等 : 事業の譲渡等はありません。

3 直前3年度の財産及び損益の状況

単位：千円

区 分	第7期 2018年3月期	第8期 2019年3月期	第9期 2020年3月期	第10期 (当年度)
経常収益	69,010	78,448	72,201	54,833
評価損益等調整前 当期経常増減額	5,650	12,196	△3,410	8,013
当期経常増減額	164,998	△424,893	△154,540	536,268
正味財産期末残高	3,123,807	2,698,913	2,544,312	3,080,581

4 対処すべき課題

(1) 基本方針

当法人は、公益財団の基本思想に忠実であることを前提としつつ、「行動規範」に定める厳正な倫理に則り、公正かつ適切な事業活動を展開する、という基本方針を引き続き事業活動の中核に据えてまいります。

2020年度は、全世界的なコロナウイルス感染症の影響による経済への打撃による現下の金融情勢に対処して資金の運用を一層慎重にし、事業規模を徐々に圧縮したうえで計画・実施・評価のPDSを回していくことにより、法人の継続性に留意しつつ安定的に事業を実施してまいりました。種々の要因により、結果的に収支相償を実現できない場合には、翌年以降の公益事業費に充当することといたします。

① コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス・マネジメントの徹底

当法人の公益法人化は、比較的早期に実現したため、当初はガバナンス・システムが概して保守的に設計されておりましたが、定款を始めとする主要規定から順次必要な制改定を進めた結果ほぼ満足できる水準に達したと判断しております。

2020年度も、引き続き日常の事業活動に影響のある規定等について、法の許容する範囲で合理的な柔軟化を図ることを主眼にしつつ、小規模組織で運営する法人に相応しい意思決定システムを実現する一方、決定したルールは、規定の有無に限らず法の趣旨に照らして厳密に運用し、コンプライアンス・マネジメントを徹底させてまいりました。

② 事業活動の規模に関する戦略

当法人は、全ての事業活動の原資を金融財産の各年度の運用益に依存しております。このため、金融市場の変動によって過去には数年間にわたり事業資金が得られず、やむなく大幅に公益事業活動を圧縮し、なおかつ基本財産を取崩さざるを得ない事態に追い込まれる苦い体験をしました。このことは、毎年研究助成を待ち望んでおられる多くの研究者の期待を損ねるものでありました。この経験から事業活動の規模の原則を「予算規模を運用益の範囲とし、基本財産と基金の取り崩しは、やむを得ない例外的な場合を除き厳に慎む。」としておりますが、この方針は堅持します。

なお、当法人の従事比率は 80%対 20%に据え置きます。

(2) 公益目的事業

当法人の主要な公益目的事業は、調査、研究、開発の推進及びこれらの助成並びに普及啓発の3分野であります。そのすべてが「人間と遊び」というユニークな視点に立った科学技術の振興に関する事業であるため、相互に有機的に関連付けられ、支え合って効果を増大させる必要があります。普及啓発の分野では、「遊びを通じて子供たちの成長を促す」という視点での取り組みを中期的な視点をもって地道に継続する必要があります。

3分野の事業実施に当たっては、限りある資金を有効に生かすため、より有為な使用方法、時宜にかなった研究テーマの設定、公平な助成先の選定等について、ますます工夫が必要であります。

① 調査研究事業

現在わが国には、多くの解決すべき社会問題が存在しておりますが、社会的に重要かつ喫緊の課題であって、「ゲームを用いて、社会の問題を解決する。」ことが可能な研究課題を、研究者のみならず一般市民の知恵を借りながら深耕していくことを当面の基本方針としております。

2021年度は、「夢のゲーム」研究アイデア公募も8回目を数えることになるので、入賞作品のアイデアを基に、当法人の事業活動の実態にも通暁した学識経験者7名からなる企画委員会が、さらに研究者の研究意欲を掻き立てるような課題を設定することとしております。

又、「夢のゲーム」の公募自体も回を重ねる毎に図らずも広告塔としての効果が注目されるようになったため、この側面を積極的に評価して、相乗効果を図ることとしております。

② 助成研究事業

当法人の中核的事業であり、広く各層の研究者から助成を期待されているので、公平・公正な審査を通じて、適切な助成活動を行うことが重要であります。そのため、外部学識経験者 10 名による「選考委員会」に実質的な決定権を委ね、その自律的な活動により、助成対象者を決定いたします。

助成研究のテーマ設定につきましても、基本的には、本年度の方針を踏襲し、分野別に次の基本方針で臨みますが、具体的な課題設定は、選考委員会の決定するところによります。

助成研究 A

骨太でゲームの根本に迫る課題に重点化し、研究テーマを細分化せず応募者の研究の自由性を保証します。

助成研究 B

「人間と遊び」をテーマにする広い分野の研究に、まんべんなく助成することによりユニークな研究を引き出します。

国際交流

2021 年度は中止と致します。

なお、限りある資金を生かすために、調査研究、助成研究の各事業に関しては、事業予算の基準値に上下 40% の範囲で上限値と下限値を設け、相対的により有為な研究に資金を提供できるよう、弾力的な配分を行います。

④ 普及啓発事業

コロナ禍で発表会開催は不可能であるため、WEB を利用した成果の公表を目指しましたが公表には至っていません。又年報も編集途中となっています。2021 年度に合併号など工夫して出版したいと考えています。

小中学生を対象とし、コンピュータゲームの制作を通じて楽しく遊びながら論理的思考を醸成させることや、長期的な点で人材育成することを目的として、「ゲーム開発体験ワークショップ」を、第三者機関である非営利法人と連携して展開しておりますが、中期的な観点に立ち、コロナ禍で延期となったワークショップに対し支援し2021年度で一旦終了となります。

広報の多様化による公益活動の周知とこれを通じて質量ともに充実した助成研究希望者を発掘、これらに伴い当法人に対する積極的な評価の獲得を目指すことは、普及啓発のために重要な事業であります。又、公益活動の展開の中でSR（Social Responsibility）活動にも引き続き目を向けていく必要があります。

(3) 法人管理事業

当法人の常勤者は2名のみでありますので、法人管理事業についても、優先順位を明確にしたうえで業務の合理化を徹底し、以下の課題に取り組んでまいります。

① 正確かつタイムリーな経理情報の作成と有効活用

2019年度から、「予実管理」を基にした経営管理諸指標を分析し、これを適時に業務執行理事に提供する管理会計システムを本格的に導入しました。より信頼性の高い制度としてまいります。

② 関係諸団体との交流促進による有用情報の入手と活用

公益事業を実施するうえで、広く情報を収集・分析し、既存事業の改善や、新規の事業の開発に生かしていくことは、不断の努力が必要であります。これまでともすれば日常業務に追われ十分な活動ができていたとは言えません。

そこで、2020年度は、事務局連に参加し、引続き活動を展開してまいりました。今後も積極的に生きた情報を入手し、事業活動に活用してまいります。

③ 普及啓発事業を3本目のゆるぎない柱とするための施策

普及啓発事業は、制度会計的には助成事業に分類されることが多いのでありますが、法人管理事業が新規取組の突破口になるケースも少なからずあります。

従って、法人管理事業の傍ら常に普及啓発事業との有機的関連性に注意し、費用を最小限に抑えながら、効果の高い施策を訴求する必要があります。

(4) 資金運用

当法人は、事業活動資金の全額を事実上財団の基本財産、特定資産（事業安定基金、資産活用基金）及びその他金融財産の運用利益に依存しております。

又、公益財団には、寄付金の獲得が推奨されているのでありますが、当法人は事業目的との関係もあって、広く一般に寄付者を見出すことは困難です。

これらの実情に鑑み、当法人は基本財産、両基金及びその他財産の特性に応じた運用基準により、安全性に極力配慮しつつ、資金別に運用利回りの目標を具体的に定めて、可能な限り高い運用益を目指すこととしてまいりました。

長引く金利水準の低迷は、安全確実な資金運用を不可能とし、一定のリスクを覚悟した資金運用を余儀なくさせられておりましたので、出来る限り基本財産等の毀損を招かないよう、従来以上に運用姿勢を慎重にし、事業規模を圧縮してまいりましたが、セガ株式配当が後半半分となる等、新型コロナ禍が続く中昨年度に引続き市場の収縮は極めて厳しいものでありました。

5 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
調査研究事業	「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する調査、研究及び開発の推進
研究助成事業	「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する調査、研究及び開発に対する次の助成 助成研究 A： ゲームの分野の研究 助成研究 B： 「人間と遊び」一般に関する研究 国際交流： ゲームに関する国際会議の開催又は参加
普及啓発事業	「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する普及啓発

6 主たる事務所の状況

名称	公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団
所在地	東京都中央区銀座三丁目 15 番 8 号 銀座プラザビル 6 階

7 主要な借入先及び借入額

該当事項はありません。

8 重要な契約に関する事項

契約名	相手方	契約の概要
賃貸借	(株)アミューズキャピタル	目的：財団事務所の賃借 金額：現行月額賃料：231 千円（保証金：2,400 千円） 期間：2014 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日 以降自動延長中
調査研究委託	早稲田大学 基幹理学部 講師 (任期付)	目的：遊びながら自律的にプログラミング的思考を育成可能なゲームの提案及び学習効果の評価 金額：3,000 千円 期間：2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日 (2021 年度継続研究のため終了は 2022 年 3 月 31 日 2021 年度金額 2,180 千円)

9 会員に関する事項

該当事項はありません。

10 職員に関する事項

役職名	氏名	就任年月日	担当事務
事務局長	平林 秀明	2012 年 6 月 18 日	事業全般の統括
主任	横尾 志保	1996 年 9 月 1 日	経理他一般事務

11 役員会等に関する事項

	① 第8回「夢のゲーム」研究アイデア公募	了承
--	----------------------	----

(2) 評議員会

開催期日 出席者数	議案の内容	審議結果
第9回 6月26日 5名 書面開催	【決議事項】 ① 2019年度計算書類の承認 ② 理事9名の選任 【協議事項】 なし 【報告事項】 ① 第9期事業報告	全部可決 了承

(3) 企画委員会

開催期日 出席者数	議案の内容	審議結果
第31回 4月24日 7名 メール開催	【決議事項】 ① 第7回夢のゲーム研究アイデア入賞者の決定 ② 2021年度 調査研究課題の決定 【協議事項】 ① 次回企画委員会の日時 【報告事項】 なし	全部次回審議 合意
第32回 5月14日 7名 書面開催	【決議事項】 ① 第7回夢のゲーム研究アイデア入賞者決定 ② 2021年度調査研究課題決定の件 【協議事項】 ① 2021年度調査研究課題・募集要領の概要 ② 次回企画委員会の日時 【報告事項】 ① 2020年度 事業計画及び収支予算 ② IGDA日本の公益事業	全部可決 全部了承 全部了承

<p>第 33 回 11 月 13 日 7 名 オンライン</p>	<p>【決議事項】 ① 2022 年度・調査研究課題の決定方針</p> <p>【協議事項】 ① 2021 暦年の活動スケジュール及び次回企画委員会の日時</p> <p>【報告事項】 ① 第 32 回企画委員会疑似要録（案） ② 2020 年度中間決算の概要及び年間の収益見込 ③ 2020 年度助成研究の募集結果</p>	<p>次回審議 合意 全部了承</p>
<p>第 34 回 2 月 19 日 7 名 オンライン</p>	<p>【決議事項】 ① 第 8 回「夢のゲーム」研究アイデアの公募 ② 特別奨励助成実施 (1) IGDA 日本への支援 (2) 国境なき医師団・高校生向け教育ゲームへの支援</p> <p>【協議事項】 ① 2022 年度調査研究事業計画の決定 ② 2021 年歴の活動スケジュールおよび次回企画委員会日程</p> <p>【報告事項】 ① 2021 年度調査研究及び 2020 年度助成研究の採択者決定 ② 2020 年度年間運用益の動向</p>	<p>可決 可決 申し送り 全部合意 全部了承</p>

(4) 選考委員会

開催期日 出席者数	議案の内容	審議結果
<p>第 27 回 5 月 8 日 10 名 書面</p>	<p>【決議事項】 ① 2019 年度第 2 回 国際交流助成の採択者決定 ② 2020 年度 助成研究課題の決定</p> <p>【協議事項】 ① 次回以降選考委員会の日時</p> <p>【報告事項】 ① 2020 年度事業計画及び収支予算 ② 第 7 回「夢のゲーム」研究アイデア入賞者及び調査研究委託課題 ① IGDA 日本の 2019 年度「子ども向けゲーム開発体験</p>	<p>可決 次回審議 合意 全部了承</p>

	ワークショップ」支援	
第 28 回 8 月 31 日 8 名 オンライン	【決議事項】 ① 2020 年度研究助成重点課題の決定 【協議事項】 ① 第 29、第 30 回選考委員会の開催について 【報告事項】 なし	可決 合意
第 29 回 11 月 13 日 8 名 オンライン	【決議事項】 ① 助成研究 A 及び調査研究の 2 年目研究継続可否の審査 【協議事項】 なし 【報告事項】 ① 第 27 回・第 28 回選考委員会の審議結果 ② 2020 年度中間決算の概要及び年間の収益見込 ③ 2020 年度助成研究の募集結果	可決 全部了承
第 30 回 1 月 15 日 8 名 オンライン	【決議事項】 ① 2020 年度助成研究採択者の決定及び答申 ② 2021 年度調査研究及び 2020 年度助成研究の研究費決定及び答申 【協議事項】 ① 2021 年度委員会を含む当財団の活動予定 【報告事項】 ① 研究助成中の研究者に関する異動事	全部可決 合意 了承

12 許可、認可、承認等に関する事項

該当事項はありません。

13 保有株式の概要

発行会社名	保有株式数 (株)	保有比率 (%)	資産区分
セガサミーホールディングス(株)	普通株式 950,000	0.357	基本財産
(株) IHI	普通株式 18,000	0.0116	事業安定基金
(株) 三菱 UFJ フィナンシャル G	普通株式 109,600	0.000807	同上

日揮ホールディングス（株）	普通株式 47,600	0.0183	同上
---------------	-------------	--------	----

Ⅱ 役員等に関する事項

(1) 理事

(2021年3月31日現在)

地位	氏名	任期	重要な兼職の状況
代表理事 理事長	中山 晴喜	2022年6月	(株)アミューズキャピタルインベストメント 代表取締役
常務理事 事務局長	平林 秀明	同上	—
常務理事	中村 俊一	同上	(株)アミューズキャピタル 代表取締役社長
理事	稲増 龍夫	同上	法政大学 社会学部教授
理事	大熊 健司	同上	(国研)科学技術振興機構 先端融合評価部会前委員
理事	中塚 尚子	同上	立教大学 現代心理学部教授
理事	坂元 章	同上	お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系 教授
理事	出口 弘	同上	東京工業大学 情報理工学院 教授
理事	渡邊 一衛	同上	成蹊大学 名誉教授

(2) 監事

(2021年3月31日現在)

地位	氏名	任期	重要な兼職の状況
監事	鈴木 正明	2022年6月	公認会計士・税理士 鈴木正明事務所所長
監事	田中 克郎	同上	弁護士 TMI 総合法律事務所代表パートナー

(3) 評議員

(2021年3月31日現在)

地位	氏名	任期	重要な兼職の状況
評議員	有澤 誠	2022年6月	慶應義塾大学 名誉教授
評議員	出澤 正徳	同上	電気通信大学 名誉教授
評議員	稲見 昌彦	同上	東京大学先端科学技術センター 教授
評議員	内田 伸子	同上	IPU・環太平洋大学次世代教育学部 教授
評議員	小野 忠彦	同上	(株)マーベラス 元監査役
評議員	残間里江子	同上	(株)キャンディッドプロデュース 代表取締役社長
評議員	内藤 経雄	同上	(株)アミューズキャピタル 取締役
評議員	長谷川良平	同上	(国研)産業技術総合研究所 人間情報研究部門 上級主任研究員

(4) 役員等の報酬等の額

地位	人数	報酬等の総額（千円）
理事	9	10,839
監事	2	240
評議員	8	210
合計	20	11,289

- (注) 1 理事の報酬総額には、使用人兼務理事の使用人分給与は含んでおりません。
- 2 評議員の報酬限度額は、定款第16条において、総額120万円以下と定められております。
- 3 理事及び監事の報酬は、定款第30条に基づき、評議員会決議による「評議員及び役員等の報酬等及び費用に関する規程」において定められております。
- 4 当法人は、役員との間に責任限定契約を締結しておりません。

Ⅲ 会計監査人に関する事項

当法人は、会計監査人設置法人に該当しておりません。

Ⅳ 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

当法人は、機関設計が簡素であることに鑑み、定款第 35 条第 2 項第 5 号の規定に基づく必要な体制の整備に代えて、2014 年 5 月 31 日付をもって理事会決議により前文と全 10 カ条からなる「行動規範」を制定し、全ての当法人の評議員、理事、監事、委員及び職員が遵守しなければならない意思決定と行動の基準としています。

Ⅴ その他の法人の状況に関する重要な事項

該当事項はありません。

以上